

令和5年度

# 病害虫発生予察情報 第4号

## 4月月報

北海道病害虫防除所 令和5年(2023年)5月19日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

### I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

—暖かい空気が流れ込みやすく記録的な高温。太平洋側では月平均気温の極値を更新。—

4月は、南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、北海道地方の気温はかなり高かった。月平均気温の平年差は1946年の統計開始以降、北海道地方では高い方から第2位、太平洋側では高い方から第1位と、記録的な高温となった。また、低気圧が北海道付近を発達しながら通過することが多かったため、全道的に降水量が多く、日本海側とオホーツク海側では日照時間が少なかった。

上旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響で雨が降った日が多かったため、降水量は多く、日照時間は少なかった。南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温はかなり高かった。北海道地方、日本海側、太平洋側の旬平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降、4月上旬として高い方から第1位の記録となった。

中旬：寒気の影響を受けた日もあったが、暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温はかなり高かった。また、低気圧や前線の影響を受ける日が多かったため、降水量は多かった。特に、16日から17日にかけて低気圧が北海道付近を発達しながら通過したため、広い範囲で雨となり、オホーツク海側を中心に雪となった。歌登では24時間降雪量38cmを観測し（17日8時までの24時間）、4月としての極値を更新するなど、局地的に大雪となった所があった。

下旬：西高東低の気圧配置となって寒気の影響を受けた日もあったが、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は高かった。26日と30日には低気圧が北海道付近を発達しながら通過したため、太平洋側を中心に降水量が多くなった。太平洋側の目黒では、26日に日降水量122.5ミリを観測するなど、大雨となった所があった。

気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差°C	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+2.1	か高	144	多	94	並
日本海側10 地点平均	+1.9	か高	143	多	90	少
オホーツク海側4 地点平均	+2.0	か高	141	多	91	少
太平洋側8 地点平均	+2.4	か高	145	多	100	並

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991~2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

## II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0は調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

### A. 秋まき小麦

#### 1. 雪腐病 発生量 やや少

予察ほにおける根雪始は、長沼町では平年より早く、芽室町及び訓子府町では平年より遅かった。融雪期は、芽室町及び訓子府町では平年より早く、長沼町では平年よりやや早かった。積雪期間は芽室町及び訓子府町では平年より短く、長沼町では平年並であった。

予察ほにおける「きたほなみ」の雪腐病発病度は、訓子府町では平年より高く、芽室町では平年よりやや高く、長沼町では低かった。病原菌種別で見ると、長沼町では紅色雪腐病、芽室町では雪腐大粒菌核病と紅色雪腐病、訓子府町では雪腐大粒菌核病が主体であった。

一般ほにおける発生面積率は平年よりやや低く、被害面積率は低かった。病原菌種別では、紅色雪腐病または雪腐褐色小粒菌核病の割合が高い地域が多かった。

予察ほにおける積雪状況

地点	根雪始		融雪期		積雪期間(日)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	12月2日	12月9日	3月24日	3月27日	113	109
芽室町	12月18日	12月5日	3月26日	4月2日	99	120
訓子府町	12月18日	12月12日	3月18日	3月30日	91	109

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	発病度		平年数
		本年	平年	
長沼町	きたほなみ	5.2	11.4	10
芽室町	きたほなみ	44.8	28.0	10
訓子府町	きたほなみ	74.5	23.1	10

予察ほにおける病原菌種別発生割合(%)

地点	長沼町		芽室町		訓子府町	
	きたほなみ		きたほなみ		きたほなみ	
品種名	本年	平年	本年	平年	本年	平年
雪腐大粒菌核病	0	0	43	27	98	41
雪腐黒色小粒菌核病	0	3	17	11	0	34
雪腐褐色小粒菌核病	24	60	0	8	0	2
紅色雪腐病	76	32	40	55	2	23
褐色雪腐病	0	6	0	0	0	0

一般ほにおける発生状況(振興局別調査結果)

振興局	作付面積(ha)	発生面積率(%)		被害面積率(%)		発生ほの病原菌種別発生割合(%)					
		本年	平年	本年	平年	大粒	褐小	黒小	紅色	褐色	その他
空知	11,701	11.5	28.6	1.6	5.6	0.0	54.8	11.8	13.2	20.1	0
石狩	7,030	37.4	43.9	3.6	10.5	0	29.0	6.2	27.6	37.2	0
後志	1,121	18.1	45.6	0.3	2.6	0	78.5	10.7	10.9	0	0
胆振	1,338	4.5	7.5	0	0.2	0	2.5	18.5	77.8	1.3	0
檜山	710	14.1	15.7	0	0.6	0	16.9	76.0	7.1	0	0
上川	10,958	28.0	56.9	2.3	11.7	0	25.5	13.8	55.0	5.6	0
留萌	935	67.9	57.0	0.7	15.7	0	85.2	0	13.0	1.9	0
オホーツク	22,745	16.5	32.8	1.5	3.5	11.9	8.8	20.3	59.0	0.0	0
十勝	42,467	22.0	19.8	1.6	1.5	26.7	0	8.8	60.4	0	4.1
全道計	99,005	21.3	30.3	1.7	3.9	13.9	15.8	11.5	50.2	6.8	1.8

注) 大粒：雪腐大粒菌核病、黒小：雪腐黒色小粒菌核病、褐小：雪腐褐色小粒菌核病、  
 紅色：紅色雪腐病、褐色：褐色雪腐病、その他：スッポヌケ症等

## 2. 赤さび病 発生期 — 発生量 並

予察ほにおける「きたほなみ」の初発日は長沼町及び芽室町では平年より早かった。発生量は長沼町及び芽室町では平年並であった。訓子府町での発生は確認されていない。

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	初発日		病斑面積率(%)*		平年数
		4月6半旬		4月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	4月5日	4月20日	0.03	0.02	10
芽室町	きたほなみ	4月28日	5月13日	0.00	0.01	10
訓子府町	きたほなみ	未発生	5月15日	0	0.00	10

注)\*: 全葉調査の平均値

## 3. うどんこ病 発生期 並 発生量 並

予察ほにおける「きたほなみ」の初発日は芽室町では平年より早く、長沼町では平年並、訓子府町では平年よりやや遅かった。発生量は長沼町、芽室町及び訓子府町とも平年並であった。

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	初発日		病斑面積率(%)*		平年数
		4月6半旬		4月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	5月2日	5月3日	0	0.02	10
芽室町	きたほなみ	4月28日	5月19日	0.00	0.00	10
訓子府町	きたほなみ	5月15日	5月11日	0	0.01	10

注)\*: 全葉調査の平均値

## B. あぶらな科野菜

### 1. コナガ 発生期 早 発生量 多 <5月15日付け注意報第1号>

フェロモントラップによる雄成虫の初誘殺日は、長沼町、比布町、北斗市及び芽室町において平年より早かった。訓子府町では平年よりやや遅かった。誘殺数は、長沼町、比布町、北斗市及び芽室町において平年より多かった。訓子府町では平年並であった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数と初誘殺日

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4月1半旬	0	0.8	0	-	5	3.7	0	-	0	-
2半旬	0	0.3	1	1.0	4	4.0	1	0.3	0	-
3半旬	6	0.7	5	3.5	15	5.3	4	0.6	0	0.2
4半旬	2	1.0	1	2.9	8	7.2	4	0.7	0	0.7
5半旬	2	0.8	7	6.0	10	7.6	0	1.9	0	0.2
6半旬	5	2.0	74	10.1	43	9.0	3	1.4	1	0.6
初誘殺日	4月12日	4月18日	4月9日	4月17日	3月25日	4月8日	4月10日	4月22日	4月29日	4月26日
平年数	10		8		10		10		10	

## C. りんご

### 1. ハマキムシ類 (ミダレカクモンハマキ) 発生期 早 越冬卵量 多

長沼町の予察園における5年枝3本当たりの越冬卵塊密度は、1.9卵塊(平年:0.7卵塊)と平年より高かった。越冬卵のふ化始は、4月13日と平年(5月3日)より早かった。